

船舶リアルタイムモニタリングシステム

J-Marine GIS

港湾や海域を航行する船舶の動静状況を
リアルタイムにモニタリング



船舶リアルタイムモニタリングシステムは、AIS 情報やレーダ情報、気象海象情報などを収集し、パソコンのWEB ブラウザでリアルタイムにモニタリングできます。当社独自開発の海洋版GIS により、海図上への重畳表示を実現します。

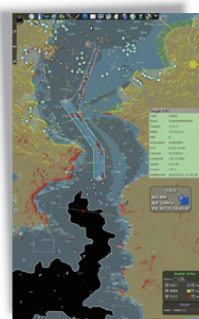
特長

■ パソコンのWEBブラウザを利用し、アプリケーションのインストールは不要。ネットワーク上のパソコンから簡単に閲覧操作可能

■ GISを採用した情報毎のレイヤ化により、システムの拡張性が容易に実現

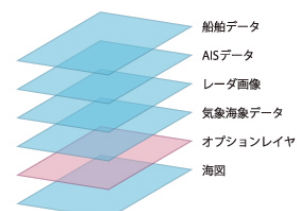
- 各種データと海図の重畳表示が可能
- 目的に合わせた各種データの選択・透過率設定・順番設定が容易
- 複数データの組み合わせにより解析・分析を視覚的な表示が可能
- 顧客要望に応じて、オプションレイヤの提供が可能

GIS:Geographic Information System



GIS表示例

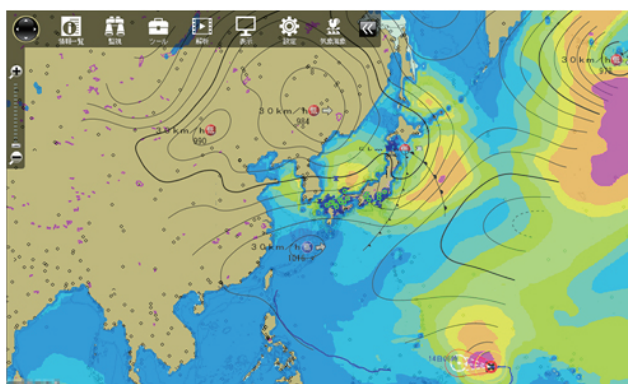
情報ごとにレイヤを構築



GIS 構造例 (レイヤ構造)

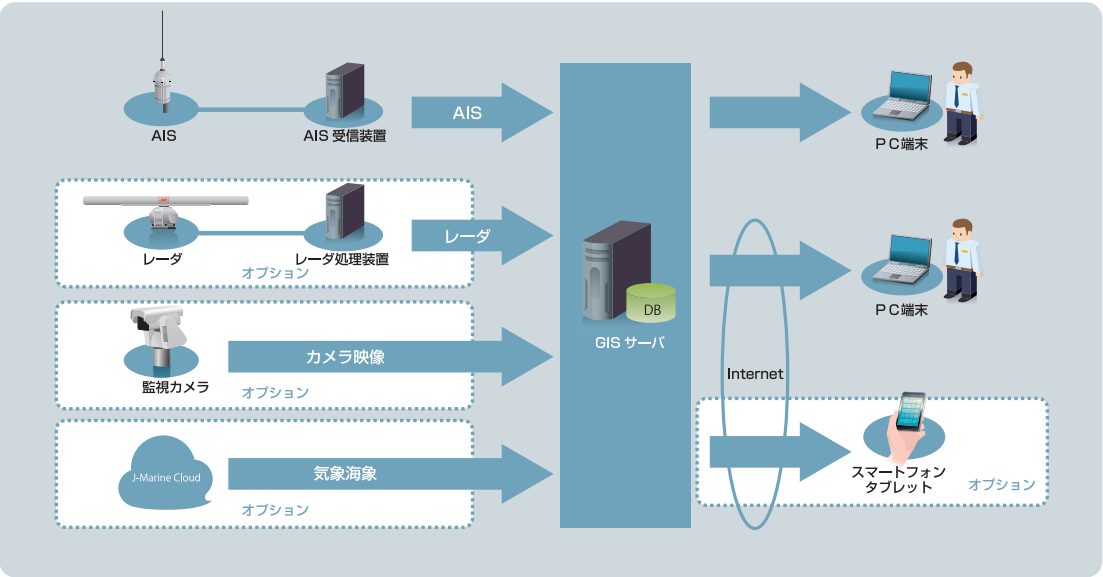
■ 船舶情報のプレイバック機能を標準搭載。過去の事故状況解析など、船舶動静状況の再現表示が可能

■ J-Marine Cloudとの連携(オプション)による気象海象情報の重畳表示



気象海象情報表示画面例 (天気図、台風、GPV重畳)

システム構成



主な仕様

対象	項目	仕様
GIS サーバ要件	対応 OS	Microsoft Windows Server2019 以上
	CPU	Intel Xeon 2GHz (4core) 以上
	メモリ	8GB 以上
	HDD	アプリケーション領域空き容量 8GB 以上※ ¹
	WEB サーバ	Microsoft IIS Ver.10 以上
	データベース	Microsoft SQL Server 2019 以上
	WEB サーバ	LAN インターフェース ×1 以上、USB2.0×1 以上
クライアント PC ブラウザ要件	対応ブラウザ	Internet Explorer Ver.11 以上、Firefox Ver.78 以上、Google Chrome Ver.88 以上

※¹ AISデータなどシステムで取り扱うデータの保存期間により必要なハードディスク容量が異なります。

機能名	機能詳細	内容	標準	オプション
電子海図表示機能		航海用電子海図 (ENC) を利用した海図の拡大・縮小、移動表示	○	—
GIS 基本機能	レイヤ重畳表示機能	電子海図上に AIS などの各種情報を重畳表示	○	—
	計測ツール機能	計測対象点間の距離・方位計測、及びエリアの面積計測表示	○	—
	描画ツール機能	直線、多角形、ポイントの描画表示	○	—
	表示設定機能	船舶シンボルの表示設定 (表示色、ベクトル長等)	○	—
AIS 情報表示機能	地図表示機能	電子海図上に AIS 受信船舶のシンボル表示	○	—
	AIS 一覧表表示機能	AIS 受信船舶の情報一覧表示、及び一覧表のソート・検索表示	○	—
警報設定表示機能	警戒線警報監視機能	任意に設定された警戒線の通過船舶に対する警報表示	○	—
	警戒区域警報監視機能	任意に設定された警戒区域の進入船舶に対する警報表示	○	—
	船舶警報監視機能	指定船舶間の接近距離、船舶の CPA/TCPA に対する警報表示	—	○
航跡表示機能		指定船舶に対する航跡表示	○※ ²	—
プレイバック再生表示機能		過去の指定期間に対する状況再生表示	○※ ²	—
警報統合監視機能	警報現況一覧表示	警報種別毎の警報現況一覧表表示	—	○
	警報履歴一覧表示	警報種別毎の警報履歴一覧表表示	—	○
事故情報登録表示機能	事故情報登録表示機能	事故情報 (日時、場所、事故種別等) の登録、海図上に重畳表示	—	○
	事故情報一覧表表示機能	登録された事故情報の一覧表表示	—	○
GPS 情報表示		海図上へ GPS 情報に基づく船舶位置を重畳表示	—	○
レーダ情報表示		海図上へレーダ画像の重畳表示	—	○
気象海象情報表示		海図上へ気象海象情報 (天気図、波、風向風速等) の重畳表示	—	○
カメラ画像表示		海図上へカメラ画像の表示	—	○
表示対応言語			日本語 / 英語	要相談

※² システムで取り扱うデータ量、サーバのディスク容量により異なります。

注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。 ※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。